

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画又は地域公共交通計画に基づく事業)

令和 年 月 日

協議会名: 徳島市地域公共交通会議

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
徳島バス株式会社	川内循環線 (①徳島駅～川内支所・富吉団地～徳島駅 ②徳島駅～加賀須野～徳島駅)	利用実態調査の実施とともに、バス車両への乗降センサーの設置を行った。また、競合区間の路線の見直しに伴い、運行ルートの変更を行い、利便性を確保した。	A 計画どおり事業は適切に実施された。	A ※系統ごとの目標については申請時に設定なし 参考:川内循環線全体 【目標達成率】120.6%(目標:73,213人/年) 【利用者数】88,318人/年(対前年比:119.8%)(対前々年比:151.9%) 【収支率】44.4%(対前年比:107%)(対前々年比:▲0.6%) ※系統ごとの達成状況 <川内循環線> 【利用者数】51,175人/年 【1便あたり利用者数】14.0人 【収支率】44.3% <加賀須野経由> 【利用者数】37,143人/年 【1便あたり利用者数】16.9人 【収支率】44.5% 目標を上回った理由として、令和4年10月の路線再編により、廃止となった路線の代替路線となったことや、阿波おどりをはじめとした沿線の各種イベントの開催などによる利用者増が考えられる。	利用実態調査を実施するなど、詳細な実態の把握に努める。また、Googleマップでの乗換案内サービスやバスロケーションシステム等の周知・広報に努める
徳島バス株式会社	渋野線 (徳島駅～動物園・渋野～丈六寺南)	利用実態調査の実施とともに、バス車両への乗降センサーの設置を行った。また、新たなデザインの動物園ラッピングバスの運行を開始し、利用者数の増加に努めた。	A 計画どおり事業は適切に実施された。	B 【目標達成率】72.9%(目標:44,601人/年) 【利用者数】32,508人/年(対前年比:130.9%)(対前々年比:122.3%) 【1便あたり利用者数】9.2人 【収支率】39.5%(対前年比:136.1%)(対前々年比:110.3%) 目標を下回った理由として、阿波おどりや夜の動物園の開催など沿線の各種イベントの開催などにより、昨年度に比べて利用者数は回復しているが、目標設定が過大であった目標を下回った。 (目標値の設定方法) 目標値の設定時期:令和4年6月申請時 令和元年度から令和4年度前期まで(H30.10～R4.3)の収入実績から利用者数を推計し、その平均から算出。 令和元年度実績 平日187人、土日祝148人 令和2年度実績 平日153人、土日祝80人 令和3年度実績 平日81人、土日祝58人 令和4年度見込み 平日119人、土日祝103人 以上の平均から設定	利用実態調査を実施するなど、詳細な実態の把握に努める。また、Googleマップでの乗換案内サービスやバスロケーションシステム等の周知・広報に努める。さらには今後の目標設定方法を改善し、実態に近い目標とする。
有限会社東丸タクシー	応神ふれあいバス (①藤田荘～応神クリニック～マルナカ成長店 ②藤田荘～フジグラン北島～キョーエイ北島店)	地域コミュニティ組織と連携し、広報に努めるとともに、広報紙の新聞折り込みや戸別訪問を継続して行い、新規利用者の増加に努めた。また、利便性向上のため、運行ルートの見直しなどの検討を行った(令和5年10月1日から運行ルートの変更を実施)。 【幹線系統との接続利便性について】 ①②とも四国大学前にて徳島バス北島藍住線・鍛冶屋原線・グリーンタウン線・立道線・応神藍住線・鳴門線に接続。高良神社前にて応神藍住線と接続。 ②フジグラン北島にて徳島バス北島藍住線・鍛冶屋原線・グリーンタウン線・立道線・鳴門藍住線と接続。 利用者がGoogleマップで乗り換え情報を検索できるよう、情報の登録を行っている。	A 計画どおり事業は適切に実施された。	A ※系統ごとの目標については申請時に設定なし 参考:応神ふれあいバス全体 【目標達成率】164.0%(目標:2,146人/年) 【利用者数】3,520人/年(対前年比:169.1%)(対前々年比:173.8%) 【収支率】5.2%(対前年比:169.9%)(対前々年比:123.6%) ※系統ごとの達成状況 <マルナカ成長店ルート> 【利用者数】910人/年 【1便あたり利用者数】6.6人 【収支率】5.5% <キョーエイ北島店ルート> 【利用者数】2,610人/年 【1便あたり利用者数】4.6人 【収支率】4.7% 新型コロナウイルス5類引き下げの影響で人流が回復し、日常生活の足として利用される機会が増えたため、目標を上回った。	利便性の向上及び新規利用者の獲得を図るため、広報紙、折り込み広告などによる、周辺住民への周知・広報に引き続き努めるとともに、運行ルートの見直しを行う

大木タクシー有限会社	上八万コミュニティバス ①ケアハウスやまもも～上八万コミセン～マルナカ徳島店 ②セブンしらすぎ台店～上八万コミセン～マルナカ徳島店 ③日比宇お地藏さん～上八万コミセン～マルナカ徳島店	地域コミュニティ組織と連携し、イベントなどを通じて、増加した利用者の定着や、新規利用者の獲得に努めた。 【幹線系統との接続利便性について】 ①②③協立病院前・亀井病院前にて徳島バス佐那河内線と接続。 利用者がGoogleマップで乗り換え情報を検索できるよう、情報の登録を行っている。	A 計画どおり事業は適切に実施された。	<p>※系統ごとの目標については申請時に設定なし 参考：上八万コミュニティバス全体 【目標達成率】141.5%（目標：991人/年） 【利用者数】1,402人/年（対前年比：122.3%）（対前々年比：406.4%） 【取支率】11.6%（対前年比：128.7%）（対前々年比：334.7%）</p> <p>※系統ごとの達成状況 <北ルート> 【利用者数】384人/年 【1便あたり利用者数】2.9人 【取支率】9.7% <南ルート> 【利用者数】566人/年 【1便あたり利用者数】4.5人 【取支率】12.8% <東ルート> 【利用者数】452人/年 【1便あたり利用者数】3.5人 【取支率】12.4%</p> <p>新型コロナウイルス5類引き下げにより、人流が回復し、運行ルート見直しによる効果があったため、目標を上回った。</p>	利用者の定着及び新規利用者の獲得を図るため、上八万まちづくり協議会や町内会など上八万地区の地域組織を通じて、地域に根差した広報を引き続き行うとともに、利用者を対象にしたイベントの実施を検討する